



平成 21 年度 名寄地区レフェリー講習・交流会

[平成 21 年 4 月 29 日 (水) : 名寄市立大学体育館]

地区協会主催大会における帯同審判員の意識・技術の向上、若手審判育成、地区審判員の交流を深めることを目的に名寄地区レフェリー講習・交流会を開催しました。

講習会には、クラブチームの帯同審判員をはじめ、今年度から新しくバスケット部の顧問になった先生、大学生など各分野から 18 名に参加していただきました。

受講された方は初めて審判をされる方が多く、ファウルやバイオレイションのシグナル、T O コール、ゲームの進め方など審判としての基本的な部分を身につけていただく内容となりました。

【講習会での主な内容】

- ゲームの進め方の理解
- ファウル・バイオレイションのシグナル
- T、Oへのコール（スリー・カウントリズム）
- 審判のポジショニング（トレイル・リードの位置取り）
- 動きの四原則の確認（ボクシング・イン、オールウェイズ・ムーヴィング、スペース・ウォッチング、ペネトレイト）、ファウルの三確認（接触・責任・影響）
- 自分のエリア内にボールがある時とない時の視野の取り方（オンボール・オフボール）
- 適切なルール、マニュアルの理解（ファウル・バイオレイション）
- 1 ON 1、3 ON 3 コート上での実技



講師側も不慣れなため、スムーズな進行とはいきませんでした。次回に向けて課題とします…

今回、もう一つの目的でもある審判員の交流は、天候にも恵まれ春の陽気に包まれた中、屋外で開催することができました。

この4月から名寄に赴任してきた先生から入学したての大学生、また、日頃、会場で顔を合わすも話をしたことの無い方もこの交流会ですっかり馴染んだのではないのでしょうか。

(気のせいかもしれませんが、講習会より人が多かったような気がします…)



このような雰囲気を楽しんで、皆さんでこの地区のバスケット競技を支えていただきたいと思います。最初から上手くできる人はいません。何事も経験ですので、今回の講習会をきっかけに今後の大会で積極的に協力していただけるようお願いいたします

最後に、講習会に選手としてご協力頂いた名寄SPの皆さん、市立大学の皆さん、下川から自転車で駆けつけてくれた下川商業高校の生徒さん、本当にありがとうございました。

講師の皆さんもお疲れ様でした。また次回に向けて頑張りましょう！

(櫻田)